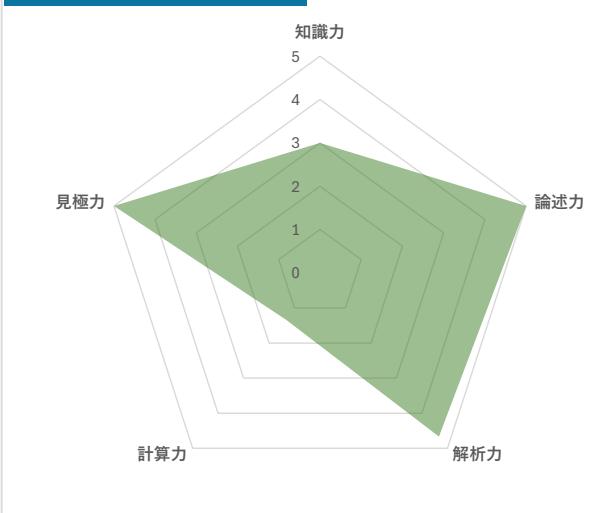


総合分析

試験区分	一般		
制限時間	60分(理科2科120分)	大問数	全3問

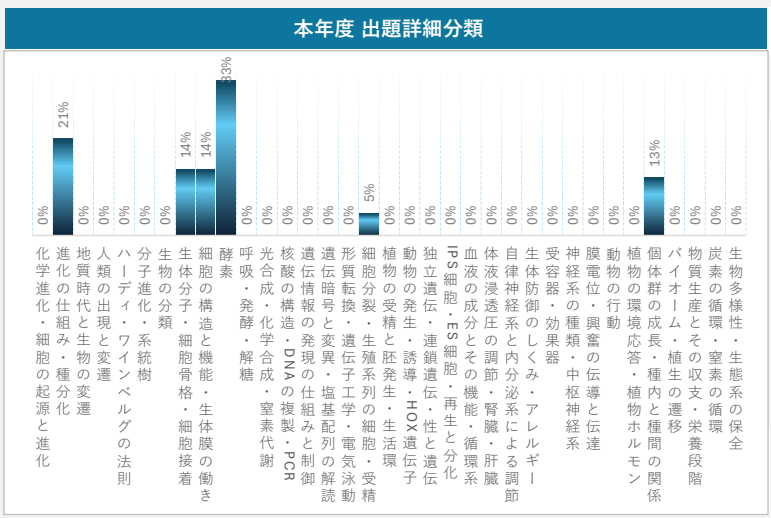
合格に要する能力 (5段階)



出題分野	
系統と進化	21%
生命現象と物質	62%
遺伝子	0%
生殖と発生	5%
生物の環境応答	0%
生態	13%

本年度出題テーマ一覧	
第1問	酵素の実験, ミカエリス定数
第2問	微小管空間と核サイズの制御
第3問	発光イカとVf菌の共進化

本年度 解答形式	
論述	100%



合格に要する能力 (5段階)		
知識力	3.0	出題分野の幅広い知識を有するか
論述力	5.0	設問の指定に沿って的確に記述する力
解析力	4.7	図表データなどから分析・解析する力
計算力	1.3	式を組み立て、正しく計算する力
見極力	5.0	難度を判断し、適切に時間配分する力

特殊問題の有無	数理生物学あり	生物物理なし	ノーベル賞なし	範囲外問題あり	長文論述あり
---------	---------	--------	---------	---------	--------

特記事項: 論文をもとに、文章量が多い、高度な図表解析問題が出題される。

総合評価

難度	4.2	最難を5とする問題自体の難度	難しい	一次合格に必要な正答率 (予想)	57%
分量	75分	完答に要する時間 (制限時間は60分)	やや多い	標準	

入試の特徴と対策

- 大問ごとにテーマが一貫している。分野を横断する融合的な大問がほとんどない。
- データ解析・推理・考察を要する設問が多い試験。
- 問題文が長く、複雑な設定や条件、前提知識が提示されている。

入試から見る大学が求める学生像

思考力・解析力・記述力・処理能力など全ての面で一流であることが必要。大学は地頭の良い学生を求めている